

U 協 近 畿 通 心 ～ U 協 を 使 い 倒 し ま し ょ う ～

【はじめに】

近畿事業推進部の川畑です。

もう10月ですね。2021年度も折り返し点にきました。早いですね。新型コロナウイルス禍で計画したとおりには進んでいない事業もありますが、振り返りを行い、下半期の計画を進めていきます。

新型コロナウイルスの感染がだいぶ減ってきて、緊急事態宣言も解除されそうです。ワクチン接種が進んでいること、危機感が伝わって人との接触を抑える人が増えたこと、もしかしたら自然に抗体ができていた人が増えてきたとも考えられます。

台湾ではデルタ株での感染者が一時期増えましたが、行政の強いリーダーシップにより、国内感染者が0になっています。世界からは民主主義国家での成功例として注目されています。凄いことです。

日本との明確な違いは、行政のリーダーシップです。台湾に学んで日本もきっちりやれば、第6波は抑えられると思います。政治家は、もっと勉強をしてしっかり対応して欲しいです。私たちはいまの状態に安心せず、感染予防対策はこれまでどおりしっかりしていきたいですね。

自民党の総裁選挙も4候補が争っていますが、どうなるのでしょうか。

その後、衆議院選挙も控えています。4候補の討論はネットで中継されています。

聴いていると??という点も多々あります。誰がましかの選択に思えます。どの候補が総裁になっても将来の子供たちのことを考える政治をして欲しいと願っています。

野田候補が人口減少問題を取り上げていたのはよかったです。ではフランスみたいに税優遇で出生率を上げるのか、移民政策をとるのかを踏み込んで話してもらいたかったです。

今月も「U協近畿通心」愉しんで頂けると幸いです。



庭のレモンが
今年は寂しげに
1個だけ実を
つけています。
ブドウの色つき
も遅いです。

【10月のオンライン研修はこれです。】

あなたの周りの方にもぜひご紹介ください。今がスキルアップのチャンスです。

5月から始めたオンライン研修。10月のオンライン研修は以下とおりです。
新型コロナウイルス禍のこの時期に、アフターコロナに備えてスキルを磨いてください。

○オンライン営業傾聴力研修 10月14日(木)

オンラインでも聴くって大事なのです。

テレワーク時のコミュニケーションに不安のある方、オンラインでのコミュニケーションに苦手意識のある方にお勧めです。

※詳細は各支部ホームページにてご確認ください。

○もしもし検定2級、3級実技1on1トレーニング 企画中

もしもし検定の実技トレーニングをマンツーマンで出来るメニューを企画中です。
準備が整い次第、各支部のホームページで案内します。

【ユーザ協会の得意技！ こういう蓄積・ノウハウがあります。岡部達昭先生編】

先月は第84回「息を吐く」（2021.02.16）をご紹介しました。いかがだったでしょうか。今回は第85回「知識は人を育てない」（2021.03.23）をご紹介します。

「知識は人を育てない」などと言いますと、「何と馬鹿なことを！」と叱られそうです。厳密に言えば、「**知識は人間力を育てない**」です。私たちの暮らしや仕事にとって、知識や情報は欠かせません。しかし、必要度から見ると、優れた頭脳と人間力は、必ずしも折り合いません。人間力を育てるのは“知識”ではなく“経験”なのです。良い経験談は、私たちを感動させ刺激を与えてくれます。経験談には、生きてきた人間のドラマがあります。

米国のエグゼクティブが受ける「社長試験」

大分以前の話です。米国にいた友人から、米国には社長を目指す人を対象にした「社長試験」という関門があると聞いたことがあります。そこで出題される問題が誠にユニークなのです。「シェイクスピアを一冊読んで、その感想を述べなさい」というのです。シェイクスピアの作品には、多様な人物が登場し、絡みがあり、さまざまな葛藤があります。シェイクスピアの描くドラマは人生の縮図なのです。社長候補たちは、その作品から何を感じ何を学ぶのか。そこにはこれから社長になって遭遇するであろうさまざまな経営上の課題、人と人とのつき合い方、人間の管理。仕事を伸ばしてゆくための創造性、行動力、発想力。それらのすべてが書かれているのです。頭脳明晰で豊富な知識だけでは社長にはなれません。それらはすべて、“人間”を知らなければならないということでしょう。社長試験は今もあるのかどうかは分かりませんが、単純にして重い試験だと感心した記憶があります。

“素”を見て選ぶ

ジャニーズを育て上げ、少年たちに夢を与え続けた非凡な経営者、ジャニー喜多川さんが一昨年亡くなりました。その時、毎日新聞に報じられたジャニーさんの逸話が胸を打ちました。

ジャニーズ事務所のオーディションには、全国から夢を膨らませて少年たちが集まります。その会場に一人の老人が、お茶の入ったやかんと茶碗を持って現れました。「お茶は要らんかね？」「お茶はどうかね？」そう言われても無視する子、素っ気なく断る子、仲間とおしゃべりを続ける子、「いつまで待たせるんだ！」と文句を言う子。一回りした老人は、正面の、社長席と札の貼ってある席の前に立って言いました。「今日のオーディションはこれで終わり、解散！」呆気にとられる少年たち。お茶を配っていたのは、ジャニー喜多川さん自身だったのです。「私は“素”を見て人を選びます」と、ジャニー喜多川さんは報道陣に語ったそうです。

“素”を見て人を選ぶ眼力、誰にでもできることではないですね。

かつて大手のコールセンターで研修をした時のことです。レベルの高い素敵な方ばかりでした。昼休みのエレベーターホール前で数人の女性が大声で話していました。「ねえねえ、今日何食う？」「また麺じゃやべーよな」???私は耳を疑いました。それは、先ほどの研修では、見事な対応を聞かせてくれた方たちだったのです。その落差にショックを受けながらも、“素”の大切さ、言葉の指導の難しさをつくづく思ったものでした。

生き方が電話応対に出る

教育とは、“素”を知ることから始まります。“素”を見抜けなければなりません。同時に指導者自身の“素”も見られているのです。それは知識や情報の量だけではありません。**生き方**です。

その経験を伝えることができる言葉の力です。

以前に拙稿でもご紹介した名優、高倉健さんの言葉を思い出します。「生き方が芝居に出る。演技ではない」そして私なりに、その言葉をアレンジしました。「**生き方が電話応対に出る。スキルではない**」

進歩を続けるAIは、膨大な知識を保有することができます。しかし、人を育てる力はないでしょう。人間力を育てるのは、地道な“経験”です。これからは、**ストレートに知識を教えるより、経験を語り、感動を伝えられる指導者が必要になる**と思います。

広島、長崎、沖縄には、悲惨な被爆体験、戦争体験を語り伝えてきた語部（かたりべ）たちがいます。原爆や沖縄戦の記録は、文章としてもたくさん残されています。しかし地獄図と言われた悲惨な体験を伝えるのは、語部の皆さんの言葉しかないのです。それは経験を語る強さです。**AI化が進んでも電話という人と人との心を通じ合わせるツールは、決してなくならない**と私は思います。そのためにも過去の経験、令和の今の過渡期の経験を、しっかり言葉で伝えられる「**電話の語部たち**」がいてもよいように思います。

【ユーザ協会の得意技！ こんなICTの紹介をしています。へ～え そうなんだ。】

今回は自宅のネット環境を整える《第3回》（2021.6.15）をご紹介します。

在宅勤務が本格的になって、早1年半。学校や塾でもオンライン授業が徐々に拡大しています。新型コロナウイルス感染拡大前には、自宅にパソコンを持たず、スマートフォンだけで十分だった人も、在宅勤務やオンライン授業のために、自宅のネット環境を充実させなければならなくなりました。

パソコンとネットワークを見直そう

自宅のネット環境を改善する時、真っ先に思い浮かぶ方法は、「高性能なパソコンの導入」でしょう。例えば、高速処理が可能なCPU（中央演算処理装置）や大容量のメモリが搭載されたものに買い替えれば、動画や大容量ファイルもストレスなく扱えるでしょう。同時に「高速通信が可能なネットワークへの切り替え」も検討しましょう。

光回線で、高速・大容量のメニューに切り替えたり、無線LAN機器を最新のものに取り換えたりすることで、インターネットへのアクセスが快適になります。

これまで、家族で、同時に大容量通信が必要なケース（例えば、オンライン授業やオンライン会議で、同時に複数台利用するなど）は、あまりありませんでした。こういった状況にも十分に対応できるネットワークや機器を揃えることは大切です。「動作が遅いな」と感じた時には、見直してみましょう。

また、今、快適に使えている人も、より高速で安価な光回線のメニューが追加されたり、セキュリティがより高まった無線LAN機器が発売されたりと、次々と進化しているので、随時見直すとよいでしょう。

パソコンの周辺機器を充実させよう

ノートパソコンを使用している場合、ディスプレイが小さく、画面上での作業が窮屈に感じられることはなかったでしょうか。そんな時には、**ディスプレイを追加し、デュアルディスプレイにします**。追加したディスプレイで資料を表示して、それを確認しながら、メインのディスプレイ上でデータ処理をするなど、大変便利です。

ウェブ会議やオンライン授業が多い人は、セキュリティと音声品質の向上のために、ヘッドセットは必須です。ヘッドセットは、ゲーム用、ウェブ会議用、スマートフォンなど用途によって形状が異なっていたり、片耳タイプ、両耳タイプなどさまざまなタイプがあったりするので、用途や好みに合わせて選びます。

このような周辺機器をパソコンに接続すると、パソコンの周りがケーブルであふれてしまいます。LAN接続はWi-Fi接続に、マウスやヘッドセットなどはBluetooth（近距離無線通信規格の一つ）接続などにし、**極力ケーブルを減らす**ようにすると、すっきりします。また、ヘッドセットをBluetoothタイプにしておけば、スマートフォンやタブレットとも兼用できるのでとても便利です。

机まわりにも気を遣おう

スマートフォンやタブレットをはじめ、マウスやヘッドセットなど、USBで給電・充電する機器が増えました。そのために電源まわりにもケーブルが増えがちです。そんな時には、一般的なコンセントとともに**USBポートが複数ついている電源タップ**を使用するとよいでしょう。ACアダプターを必要とせず、USBケーブルを差し込むだけで給電されます。ただし、USBによる給電・充電は、コネクタの種類（Type-A、B、Cなど）や急速充電の規格など、多種多様です。自分の使っている機器に合った電源タップを選ぶようにしましょう。

そして、もう一つ。在宅勤務が続くことで、意外と気になるのが、「椅子」です。長時間にわたり集中して作業をするためにも、そして、**健康のためにも椅子には気を遣いたい**ところです。短時間であれば間に合わせのものでもよいでしょうが、長期間、長時間の作業となると、身体に負担の少ないものを選ぶことをおすすめします。

「在宅勤務だから多少効率が落ちても仕方がない」とはもう言えません。在宅勤務でも、さらにより高い成果が得られるよう環境を整えておきましょう。

【お役立ち情報：こんなにあります仕事の効率化ツール】

ITデバイスやクラウドサービスのアカウント管理は、みなさんの会社では担当者が苦勞されているのではないのでしょうか。最近、ITデバイス（パソコン等）以外にもクラウドサービスを使っていますから、採用、異動、退職などの時は結構手間ですね。そんな業務を解決してくれるサービスを最近知りました。ご参考になればと思い紹介します。ラクスルが運営してる「**ジョーシス**」というサービスです。<https://josys.it/>

ジョーシスは従業員の入社～在籍中～退社に伴い発生するITデバイスの購入・返却やSaaSアカウントの発行・削除といった業務を効率化し、台帳管理を自動化することで、業務コスト削減とセキュリティ向上を実現するサービスです。

キittingサービス（すぐ使えるように必要なソフト等をインストール）もあるので採用者や転入者がいるときは、ほんと助かりますよね。

従業員のITデバイス、SaaSの最新の利用状況を一元管理

従業員がどのITデバイス、SaaSアカウントを利用しているかの**最新状態を管理**。API連携ですべて自動更新、コストや利用状況もダッシュボードですぐに確認。エクセルでの台帳管理から解放されます。

ITデバイスの購入、キitting・保管のアウトソース

ジョーシスが運営するオンラインストアの豊富なラインナップから**業界最安値クラス**でITデバイスをご購入いただけます。購入後、ITデバイス台帳に自動反映されます。コーポレートITのリモートワークも実現します。

SaaSの管理画面ごとで行っていた、アカウント発行、権限設定が不要

API連携により、社員の入退社にともなう面倒なアカウント発行、権限設定、削除が**ジョーシスでできます**。利用しているすべてのアプリの利用状況、コスト、契約内容を一元管理し、アプリ管理業務を大幅削減します。

アカウント消し忘れを防止し、会社のITセキュリティーレベルを向上

退職後の従業員のアカウント削除漏れを通知し、情報漏洩リスク対策や適切なコスト管理、棚卸し工数も削減にも効果的です。

この担当をしている方にこのサービスを聞くと、恐らく私がやっているのだから必要ないという返答が返ってくるのではないかと思います。

本当にそうでしょうか。この種の業務をやっている担当はそれが自分しかできない業務になって、本来会社が期待している業務の稼働に時間を割けない事態に陥っていないのでしょうか。ITデバイスやクラウドサービスのアカウント管理が効率化できると、他の業務へ時間が使えますから、生産性が向上すると私は考えます。

【お役立ち情報：ICTがわからない時はこんな無料相談もあります。】



ICT お仕事悩み
相談デスク

お電話からのお問い合わせ

相談無料

0120-045-783

ICTってどう進めればいいのかわからない。
わかる人もいないし、時間もないしな。

そんな時は無料相談してみてください。

電話受付時間:10:00~17:00

【お役立ち情報：大前さんにこんなこと学びました。】

8月31日ICTセミナーでの大前さんに学ぼうは「**コロナ後の不動産価値と掲載・企業経営へのインパクト**」でした。760人の方からお申込み頂き、アンケートでも大変好評でした。大前さんは不動産が三度の飯より好きとおっしゃって、日本以外にもオーストラリア、カナダ等に不動産をお持ちでしたが売却され、今はオーストラリアだけのようです。バブル崩壊を見事に予測され不動産価格が10分の1になると当時言い当てられました。その大前さんの話は事実に基づくので、今後のみなさんの事業にも参考になったことと思います。

当日、参加できなかった皆様の今後の事業のお役に立つのではないかと、今回はそのサマリーをお伝えします。

(サマリー)

- 不動産業はGDPの約12%を占め**、製造業、卸売・小売に次ぐ3番目の産業であるが、先進国の中では割合は低く、**今後の成長余地が大きい**。
- 不動産価格は**バブル崩壊後は長らく低迷したが、ミニバブル期を挟み、2013年アベノミクス/東京五輪開催決定以降の地価は上昇傾向にあった。しかし、コロナ禍拡大の影響により**2021年は6年ぶりに下落に転じている**。
- 現在は、新型コロナウイルス感染拡大により生活や働き方が変化しており、それを受けて**不動産需要が変化し、都市・街にも影響が及んでいる**。(通勤→テレワーク、都心→郊外、買い物→デリバリー、旅行→ステイホーム等)
- 本社を売却する動きが出てきているが、今後はさらに**企業の自社ビル売却傾向が加速**していき、**所有から使用に変わる**ことで、どこにオフィスを置くのか意思決定が楽になる。今後、**不動産バブル崩壊の危険性が高まってくる**。
- 外出制限、移動の制限により、私鉄の繁栄の連鎖の方程式（駅、百貨店、駅ビル商業施設、ホテル、旅行会社、野球場など）が崩れた。**2点間の移動から、域内他拠点移動へシフトしたビジネスを模索する動きが出てきている**。
- 今後の不動産・都市は、五輪、万博、IR、MICEなどの大規模な箱ものに頼るのではなく、**職住近接の24時間都市というコンセプトで設計**すると同時に、**感染症対策やスマートシティ構想を進めていくべき**。
- With/afterコロナ時代は、**人の流れが従来の7割になることを想定**して不動産価値を再考する必要がある、**不動産需要の変化を早送りしてコロナ後の不動産価値を考えることで新しい事業機会を見出すことができる**。

いかがでしょうか。日経平均が3万円を超えてきて市場がいいように見えますが、果たしてそうでしょうか。今回の大前さんの不動産の話をお聴いて、今後の事業をどうやっていくのか多くの示唆がありました。ご参考になれば幸いです。

<原稿大募集中！ご紹介します。>

あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいですね。いつでも待ってま〜す。写真も大歓迎です。

送り先：f.kawabata@jtua.or.jp（川畑）までファイル（A4）を送って下さい。